

2010年（H22年）7月30日

署名活動にご協力いただいた皆様へ

二ヶ領用水と中原桃並木の恒久保存をもとめる会  
代表 石井紀男

みなさまのご協力をいただき、本年6月21日川崎市議会にお願いいたしました

「二ヶ領用水と中原桃並木の恒久保存」が、川崎市議会まちづくり委員会で、2010年（平成22年）7月30日全会一致で趣旨採択されました。

9月の川崎市議会において委員長より本議会に提案される運びとなりました。

昨年7月12日「二ヶ領用水・中原桃の会」と「二ヶ領用水・中原桃の会 PJ21」が開催いたしました二ヶ領用水七夕まつりにおいて、2011年3月竣工400年を迎える二ヶ領用水を「川崎市の歴史遺産として認定、保存する」アピールを採択。

同8月31日には、阿部孝夫川崎市長にこのアピール文を「要望書」として提出し、市長からも「二ヶ領用水は大切な財産。条例を作る方法はある。」との好意的な回答をいただいております。

その後、一部地域では、二ヶ領用水を暗渠にして道路整備をとの意見も出されているやに聞き及び、私たちが大切にしてきた二ヶ領用水と中原桃並木は何としても守りたいと署名活動を始めました。

署名活動にあたりましては、賛同いただく多くの団体市民の方々にご参加いただきやすくするため、「二ヶ領用水と中原桃並木の恒久保存をもとめる会」を発足。

7月30日現在、二ヶ領用水と中原桃並木を愛する3,089名の署名を提出し、委員会審議を11名で傍聴いたしました。

現地調査も踏まえた上での熱心な審議は、1時間を超えるものでした。各会派の方々から好意的な意見や質問が多く出されました。

「二ヶ領用水は川崎市の歴史遺産として残したい。」「大事な用水施設であり、今後イベントや保存活動を市民と一緒にやっていきたい。」また「中原桃並木についても後世に残せるよう考えていきたい。」など大変好意的な意見が相次いで出され、全会一致で趣旨採択されました。

また、今後の課題も多く提案されました。

二ヶ領用水竣工400年は、あくまで通過点「二ヶ領用水と桃並木の恒久保存を」と願ってきた私たちの願いが、市議会のまちづくり委員会で趣旨採択されましたことは、ひとえにこの運動に賛同し、ご協力いただきました皆様のご努力の賜物と会員一同、心より御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

事務局：川崎市中原区上小田中6-30-6  
津脇梅子 電話：044-722-8093